

普及現地情報

発信年月日：平成 27 年(2015 年)3 月 18 日
所 属 名：甲賀農産普及課
番 号：C14025
部 門 分 類：340 鳥獣害
発 信 者 名：竹若、山中

甲賀地域獣害対策協議会先進地研修会を開催

甲賀地域の獣害対策は、恒久柵の整備など一定進んではいるものの、緩衝帯の整備とその効率的な管理が課題となっています。そこで、当課と甲賀地域獣害対策協議会が連携し、3月4日に福井県鯖江市において視察研修を行いました。

まず、鯖江市鳥獣害のない里づくり推進センターの中田さんから、鯖江市の獣害対策について講義していただきました。人と生きものとの共生や獣害対策を通じたふるさとづくりをテーマにした全国的にも珍しい市のマスタープランを策定し、集落リーダー育成、防護柵や管理点検、緩衝帯整備の指導など示唆に富む内容でした。

引き続き、若狭牛の放牧により緩衝帯整備を実施されている、同市河和田東部美しい山里の会事務局長の服部さんから講義を受け、現地を視察しました。同地区は4集落からなり、各集落と集落内の組がお互い切磋琢磨し、より良い電気柵整備を目指していること、もたれあいになって整備が進まなかった区間は4集落が連携して放牧管理し、里山の景観形成に生かしていることなどを学びました。

視察後、獣害対策の一環として、耕作放棄地で羊の放牧を具体的に検討する動きもみられ、充実した研修となりました。

当課では、関係者と連携しながら、放牧を取り入れた緩衝帯整備のモデル集落を育成していきたいと考えています。



鯖江市中田さんの講義



放牧による緩衝帯整備の現地視察